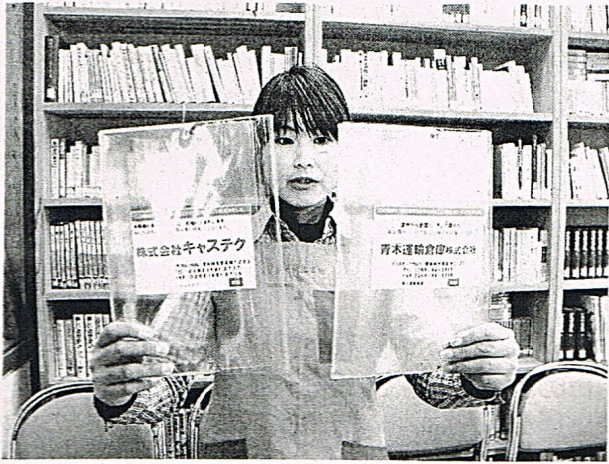


企業の寄付で購入した雑誌に付けるカバー

村図書館が県内初の「寄贈サポート事業」

企業の寄付で雑誌充実へ

青 木



企業からの寄付金で雑誌を購入し、図書館を充実させよう。小県郡青木村の村図書館が12月1日、「図書・定期刊行物寄贈サポート事業」を村内企業などと共同で始める。自治体の財政難などで削減される図書購入費を確保する試みで、認定NPO法人地域活性化プラザ（埼玉県川越市）が企業と図書館の橋渡しをする。同プラザによると、埼玉県内では既に15図書館が事業を活用しており、長野県内での実施は初めて。

青木村図書館は現在、19種類雑誌を購入している。利

用者からはこれまで農業関係の雑誌などの充実を求める声があったものの、同館の図書購入費は毎年約150万円で横ばい。新たな雑誌購入が難しかった。今回の事業に村内の2社が年6万円ずつ寄付することになり、新たに11誌を購入する。

図書館は、スポンサー企業の寄付で購入した雑誌に透明白なカバーを掛け、企業を紹介する。1年間試行し、その後はスポンサー企業や村と話し合い、継続するか決める。埼玉県内での参加企業は約70社

になるといふ。

今回は、地域活性化プラザの設立に関わり、プラザの理事も務める青木村の北村政夫村長が発案した。青木村図書館司書の奈良本いずみさん（41）は「利用者の声にこたえることができ、感謝しています」。地域活性化プラザの石原猛男理事長は「長野県内で希望があれば、できるだけ応えたい」と話している。問い合わせは地域活性化プラザ（☎042・9889・9545）へ。